

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：なかよし岐阜南保育園	種別：保育所
代表者氏名：常 川 博 康	定員（利用人数）： 2 6 0 名
所在地：岐阜市切通4丁目6番5号	
TEL：058-247-2446	ホームページ： http://www.nakayoshi-gm.ed.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成52年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 常和会	
職員数	常勤職員： 3 3 名 非常勤職員 1 8 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 3 0 名 保育士 1 2 名
	事務員 1 名 調理、おやつ担当 4 名
	運転手、用務員 1 名 運転手、用務員 1 名
	看護師 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 1 4 室 遊戯室 園庭 乳児専用園庭 屋上 2

③理念・基本方針（※転載）

《保育方針》

心豊かで賢く、たくましい子どもをめざして

《基本方針》

- ・子どもが様々な人と出会い、関わり、心を通わせながら成長していくために、乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かに作りあげ、その健全な心身の発達を図る。
- ・保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行う。
- ・家庭や様々な社会資源との連携を図りながら、入園する子どもの保護者及び地域に子育て家庭に対する支援を行う。
- ・保育士は倫理観に裏付けられた専門知識、技術及び、判断をもって、子どもを保育するとともに、子どもの保護者の保育に関する指導を行う。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・大型総合遊具の設置や大型プレイハウス(遊戯室)の設置がある。
- ・チャレンジ教室(英語・絵画・音楽・体育・習字・キッズダンス・スイミング)を行っている。
- ・市のメニューに合わせた完全給食を実施している。
- ・心のつながりと信頼関係を大切に「養護」と「教育」が一体となった保育を行っている。
- ・温かい心で「はげます」「ほめる」「みとめる」の言葉がけを大切に、子どもの心に共感しながら個性豊かな成長をやさしく見守り、育んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 5 年 9 月 8 日（契約日） ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3 回（平成 2 9 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<地域に根ざした保育園として様々な交流がある。>

当園は、開設から50年近い歴史を有し、卒園生も数多く、地域での知名度も高く、様々な人々との交流が行われている。地域行事への参加や、園行事でののかかわり、ボランティアの受け入れ、小中高生との交流、体験学習の受け入れ等を通じて、地域に開かれた園として、つながりを深めている。

<子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。>

子どもたちが安心して生活できる場として、のびのびと活動できる環境づくりをしている。保育室には日差しが入り、明るく快適であり、空気清浄機、エアコン等が設置されており、室内の温度、湿度等も適切に保たれている。増築された建物であるため、高低差は若干あるが、クッションフロアを使用したり、人工芝等を敷き詰めたりして、転倒による危険防止の配慮がなされている。また、思いきり屋外活動ができるように、どこでも掘り起こすことができる砂の園庭や裸足で未満児も探索できる人工芝の園庭が整備されている。保育者は園庭の点検を毎日行い、危険がないかを確認している。

<子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している>

廃材を使った制作遊びを取り入れたり、自由に出し入れができるおもちゃコーナーを作ったりして自由に遊ぶことができるような時間や空間を確保している。また、園外に出かける等、季節を感じられる活動を子どもが選択して行うようにし、やってみたいと思う事には、保育者も一緒に挑戦するようにしている。さらに、小学生、中学生、高校生が来園し、1年を通して交流している。このような保育環境の中で、日常的に子どもが主体的に役割分担や協同作業ができており、異年齢児との交流や遊びを楽しんでいる。

◇改善を求められる点

＜マニュアルの整備と検証の仕組みづくりに向けた取り組みに期待したい。＞

マニュアルのいくつかは、市の仕様を活用し、読み替える等して対応しているが、今後、よりきめ細やかな保育実践の標準化を考えれば、園独自のマニュアルを系統的に整備するとともに、各種マニュアル類について、年度末の検証の仕組みづくりに向けた取り組みに期待したい。

＜自己評価の検証や目標管理制度の導入に向けた取り組みに期待したい。＞

毎月、自己評価を行っているが、個人レベルの検証にとどまっている状況である。その後、園として集計や分析を行い、園の強みや課題を明確にし、今後の改善に向けて課題を全職員で共有していかれるよう期待したい。また、職員個々の目標管理制度の導入に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

福祉サービス第三者評価の自己評価や第三者評価の過程で、保育のあり方や園の運営全般について、いろいろな気づきを得ることができました。今後、課題を検討し、より質の高い保育を目指して改善に努めていきます。また、地域に開かれた園として、地域の子育て支援ニーズに対応した支援に取り組んでいきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。